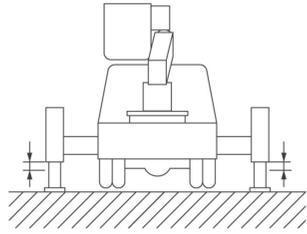
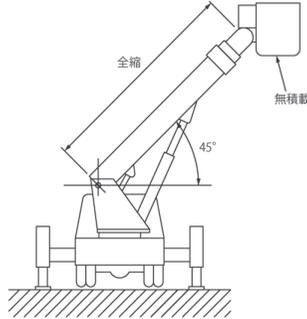
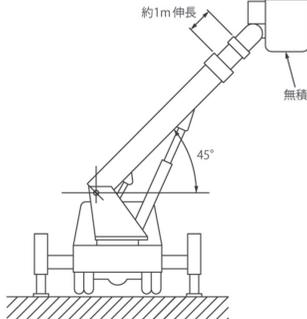


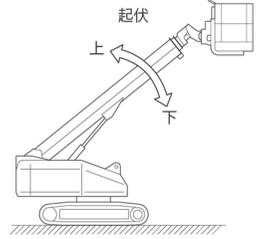
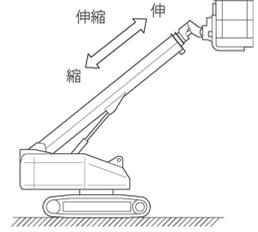
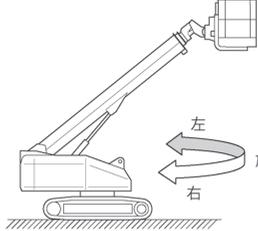
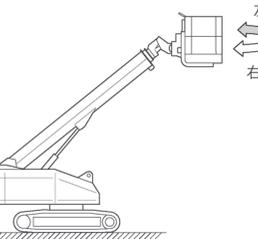
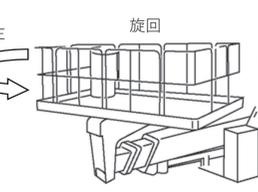
アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SH15C1FS		
		適用号機又はスペック番号		STD		
区分	検査箇所	運用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値	
作業装置	ブーム ※10	スライディングパッド部ガタ	第1先端	上下	mm	0.5
				左右	mm	0.6
			第2先端	上下	mm	0.5~1.1
				左右	mm	0.6
		2nd先端ローラ部ガタ		左右	mm	-
		スライディングパッド摩耗量			mm	2.0
	バケット	積載		kg	250	
	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	17.6 (180)	
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	900 ⁺⁵⁰ ₀	
		作動油		-	VG22	
油温		°C	40			
油圧シリンダー	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min以下		
		伸縮	mm	2/10min以下		
		ジャッキ	mm	1/10min以下		
		クインテ起伏	mm	2/10min以下		
安全装置	アースル線	抵抗値		Ω	1Ω以下	
	作業範囲	作業範囲規制 ※9		-	-	
	規制装置	モーメントリミッタ ※9		-	○	
	インターロック	ジャッキインターロック		-	○	
		ブームインターロック		-	○	
作業機用エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	低	min ⁻¹	1350 ⁺⁵⁰ ₀	
			中	min ⁻¹	1500 ⁺⁵⁰ ₀	
			高	min ⁻¹	1650 ⁺⁵⁰ ₀	
		弁すき間	吸気弁	mm	0.25	
			排気弁	mm	0.25	
		圧縮圧力		MPa/min ⁻¹ (kgf/cm ²)	2.9 (30)	
	※回転速度		min ⁻¹	290		

トラック式・作業機用エンジン付

適用範囲		モデル名		SH15C1FS	
		適用号機又はスペック番号		STD	
区分	検査箇所	運用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値
総合テスト	作動速度	起伏	上	S	35±5
		※2-1	下	S	30±5
		起伏	上	S	-
		※2-6	下	S	-
		旋回	右	S	50±10
		※2-2	左	S	50±10
		伸縮	伸	S	33±5
		※2-3	縮	S	25±5
		アーム旋回	右	S	-
			左	S	-
		バケット首振	右	S	10±5
		※2-4	左	S	10±5
		バケット昇降速度	上	S	6±3
			下	S	6±3
		ウィンチ起伏速度	起	S	6±3
			伏	S	8±3
ウィンチ旋回速度	右	S	7±4		
	左	S	10±5		

<p>※1. シリンダー自然降下量</p> <p>1) ジャッキシリンダー</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> 車体を水平堅度土上にセットする。 エンジン停止させる ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする 1分後、0点を合わせる 10分経過させる 自然降下量を測定する (前右、前左、後右、後左) <p>[判定基準]</p> <p>ジャッキポストのストロークにて 1mm 以内/10分</p>	
<p>2) 起伏シリンダー</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを起伏各 45° にセットする エンジン停止させる 起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 残圧を抜き 1分後または 5分後、0点を合わせる 10分経過させる 自然降下量を測定する <p>[判定基準]</p> <p>ピストンロッドのストロークにて 2mm 以内/10分</p>	
<p>3) 伸縮シリンダー</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを起伏各 45° にセットする ブーム長さを 1m にセットする エンジン停止させる 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする 残圧を抜き 1分後または 5分後、0点を合わせる 10分経過させる 自然降下量を測定する <p>[判定基準]</p> <p>第 2 ブームのストロークにて 2mm 以内/10分</p>	

<p>※2. 速度測定方法</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> 車体を水平堅度土上にセットする。 作業車の作業範囲に障害物がないことを確認する 油温は 40±10°C で行なう <p>1) ブーム起伏速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる 起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する 	
<p>2) ブーム伸縮速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる 伸操作により「伸」エンドまでの時間を測定する 縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する 	
<p>3) ブーム旋回速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを全縮、起エンドの状態にする ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する ブーム右旋回、左旋回共に行なう 	
<p>4) 首振り速度</p> <ol style="list-style-type: none"> 首振り操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する 首振り右操作、左操作共に行なう 	
<p>5) プラットフォーム旋回速度</p> <ol style="list-style-type: none"> ブームを全縮、起エンドの状態にする ブーム旋回操作により 1 回転するまでの時間を測定する ブーム右旋回、左旋回共に行なう 	

<p>6) ブーム起伏速度</p> <p>(1) ブーム全縮状態・首振り格納、起伏MAX位置から起伏下操作により「下」→起伏水平停止 ($0 \pm 1^\circ$) 位置までの時間を測定する。</p> <p>(2) 起伏水平位置より、起伏上操作にて「上」→起伏MAX位置までの時間を測定する</p>	
<p>※3. 走行速度測定方法</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 速度が安定した走行区間の速度を測定する <p>※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を行う</p>	
<p>※4. 走行直進性測定方法</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする 2) 走行操作レバーをいっぱいまで操作する 3) 車両が最大速度になるまで助走させる 4) 最高速度で約10m走行させ曲がった距離を測定する 	

<p>※5. 履帯たわみ測定方法</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする (2) 第1ブーム先端部に支柱セットする (3) ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm~50mm浮かせたわみ量の測定をする <p>1) SR10CSM、SR12CSM</p> <p>2) SR19CSM/21CSM/21CJM</p>	
<p>※6. 小型履帯たわみ測定方法</p> <p>[測定要領]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にフレームを上げた (60 mm以上) 状態保ちクローラ▲合マークを本気中央下側に合わせ測定 	
<p>※7. 走行駆動用チェーンたわみ測定方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) スプロケット上側チェーンを張るように、前進及び後進して停止 2) 下側チェーンスプロケット間の中央位置を $9 \pm 1 \text{ kgf}$ にて押し引きし、S-S' 間寸法を測定してください。 	<p>チェーン張り基準</p>

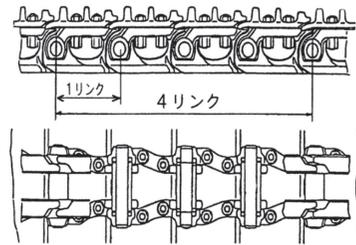
アイチコーポレーション

※8. 鉄製履帯リンクピッチ測定方法

[測定要領]

- 1) マスタピンから1~2リンク離れた4リンク分を測定する

注: シューリンクを張った状態で測定すること。



※9. 作業半径測定方法

[検査機器]

1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

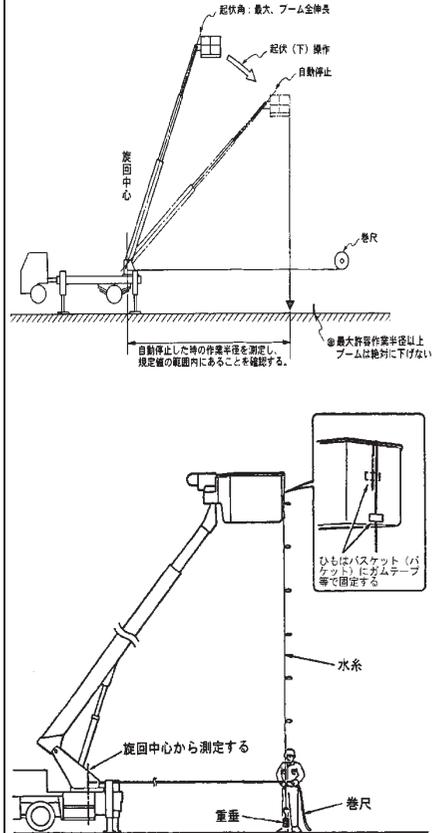
※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

[測定例 L-MAX]

※測定はL-MAX（ブーム全伸長）の他にL-MIN（起伏角水平）があります。

詳細はサービスマニュアルを参照してください

- 1) 車両を水平堅土上にセットする
- 2) ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
- 3) 車体は前後左右水平にセットする
(張り幅によって測定値、測定方法が異なります)
- 4) バケツにウエイトを積載する
(機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと)
- 5) ブームの操作は下操作で行なう
- 6) ブーム操作は低速にて行なう
- 7) ブームが自動停止した作業半径を測定する
- 8) 規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行わないこと
- 9) 測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと



※10. スライディングパット部がた点検方法

[測定要領]

ブーム水平全伸長にして、第3ブーム先端を左右にゆさぶり、第1ブーム先端スライダと、第2ブーム及び第2ブーム先端スライダと第3ブームのガタの状態を調べる。

ガタが大きい場合は、ガタの寸法、スライダの摩耗量を調べる。

